

令和 6 年度

函館白百合学園中学校

オープン模試

国語

令和 6 年 9 月 29 日(日)実施

注意事項

1. 試験時間は 45 分です。
2. 問題は□から△まであり、15 ページまであります。
3. 答えはすべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ出しなさい。

一 次の問い合わせに答えなさい。

問1 次の  
線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 野菜を細かくキザむ。  
② エンゼツを聞く。

- ③ ミズウミのほとり。  
④ 天にネガう。

- ⑤ 友だちを家にマネく。  
⑥ キボウを持つ。

問2 次の  
線のカタカナを漢字と送りがなに直しなさい。

- ① 新しいココロミ。  
② 煙をタガヤス。

- ③ 事業をイトナム。  
④ フタタビ出会う。

問3 次の  
線の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 月が満ちる。 ② 汽笛がなる。  
③ 夢を育む。 ④ 日が照る。  
⑤ 羽毛のふとん。 ⑥ 高い志を持つ。

問4 次の漢字の部首を、ア～エからそれぞれ選びなさい。

- ① 次 ② 複

ア しめすへん イ あくび ウ ころもへん エ ごんべん

問5 次の漢字の中で、総画数が十一画の漢字をア～オから二つ選びなさい。

ア 最 イ 健 ウ 備 エ 鹿 オ 流

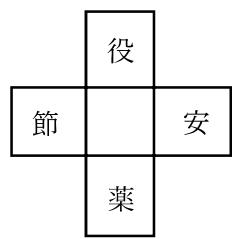
問6 次の①～③の熟語の説明として適切なものを、ア～エから選びなさい。

- ① 絵画 ② 登山 ③ 曲線

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの。  
イ 反対や対になる漢字を重ねたもの。

ウ 上の字が下の字を説明するもの。

エ 下の字から上の字へ返って読むと意味がよくわかるもの。



問7 次の図は、中央に一字を入れると、上下、左右で二字熟語となる。中央の空欄に入る漢字一字を答えなさい。

問8 次のことわざと反対の意味のことわざを、Ⓐ～Ⓔから選びなさい。

① 善は急げ

② 好きこそものの上手なれ

③ 果報は寝て待て

ア せいては事を仕損じる

イ まかぬ種は生えぬ

ウ 下手の横好き

エ 渡る世間に鬼はなし

問9 次の□に漢字一字を入れて故事成語を完成させなさい。

- ① 背□の陣 はい  
〔意味：ほかと比べて、特にすぐれていること。〕
- ② 強□の功 けい  
〔意味：どちらも大きなかがいはないこと。〕
- ③ □だれ石を穿つ うが  
〔意味：小さい力でも根気よく努力すれば、成功するということ。〕

二 次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。なお、▼から▲までの文章は、中略した文章の内容をまとめたものである。

青年期においてよき友人を得ることは大切なことである。友人との関係を通じて、青年は自分の個性の在り方を自覚すると共に、自分とは異なる生き方を理解し、評価することを学ぶのである。このことは、大人になるために必要な条件のひとつである。

子ども時代の友人関係は、近所に住んでいるからとか、教室で机が並んでいたからとか、**1**( )的な要素によることが大きいが、成長してくるにしたがって、自分の個性との関連において、自らの意志によつて**2**選ぶという要素が大きくなつてくる。ともかく、自分という存在を認めてくれている、許容してくれている、友人がいるということは、人間を力づけてくれるものである。既に述べたように、大人となつてゆくためには、両親からのある程度の分離が必要があるので、**3**このような友人による支えは随分と有難いことと感じられる。

**1** このような友人との連帯感は、ただそれだけに終るときは、本質的には母子一体感とよく似たものとして、むしろ、青年の**4**成長を阻むものとして作用するときがある。

**2** ある大学生A君が大学に行くのが何となく馬鹿らしくなつて、下宿にこもりがちになつてしまつた。それでもあまりにさびしいと思うときは、大学に出かけてゆくのだが、誰も相手にしてくれない。そんなときに、近くの食堂でふと隣り合つた同年輩の若者と親しくなつた。彼は高校を出てすぐ就職しているのだが、お互いに強い親しみを感じ、下宿を訪問し合つたり、一緒に食事をしたりする仲になつた。A君にとって、その友人が共にいてくれることは、なんとなく気分が落ちつくし、別にとりたてて話し合わなくともお互いに気持ちが通じ合うように感じられた。このような友情が一年あまりも続いたが、そのうちにA君は彼と一緒にいると、何となくいらいらするようになつてきた。彼のどこが気に入らぬということもないのだが、ともかく、いらっしゃとしてくるのである。

このような現象が生じてきたのは、A君の友人関係が、もはやA君の成長を阻む方向に動きはじめているからである。

▼ 一人はつまらないことで口論し、会わなくなつた。もつ付き合いたくないと思う一方、彼のいないさびしさにA君は気づく。そんなとき、友人がやつてきて、「A君をなぐさめる」として、自分は大学生よりえらいと思いついた。それはまちがいだたと反省した」という。A君も、他の大学生の悪口をいうことで自分たちは意氣投合していたと気づく。A君は大学へ出たくなつても、大学のことを散々悪くいいながら、いまさらかつこう悪いので友人にいい出せなかつた。そんな思いを一人とも率直に話し合つて、以前より親しくなつたように感じた。▲

友人関係はいろいろな要素から成り立つている。関係の緊密さという点にのみ目を向けるとき、それは非常によい関係であるかのよう見えるが、実のところ、アお互いの成長を妨害している関係として、イ「影の共有」関係というのがある。人間は誰しも「影の部分」というべきものをもつてゐる。自分にとつては受け入れ難い部分、生きていくことを拒否している部分、といつてい。今の例でいうと、A君もその友人も、大学で勉強するということは、共通の影の部分になつていた。3、二人とも大学生の悪口をいつているだけで意気投合することができたのである。われわれは自分の克服しなくてはならない影の部分に対し、それと直面する苦しさをまぎらわすために、ウ影の部分を共有する人間関係をもち、自分の影の部分を不問にして、他人を笑いものにしたり、他人を攻撃したりして「固い友情」(ほこ)を誇っているときがある。そこで、その関係をエ「大人の友人関係」へと高めるためには、外にばかり向けていた批判の目を内に向け、A君とその友人が話し合つたように、お互いの影の部分を直視することが必要になつてくる。このような話し合いを通じて、A君は大学に行くようになるし、友人は今までどおり仕事を続けながらも、自分は自分の道を歩き、他人は他人の道を歩くものとして、5( )、それにこだわることなく友人関係を保つことができるようになるのである。

人間は誰しも影の部分をもつてゐるし、弱くもあるから、どこかで影の共有人間関係をもたないと苦しくて生きてゆけぬことも事実である。4、いつまでもそれに甘んじていてはならないのである。6そのような関係が変えられてゆくときに、A君が体験したように、一時的に友人関係を切つてしまおうと思うほどの孤独が感じられ、次にそれをバネとして新しい連帯感が生まれてくるところが特徴的である。

〈大人になることのむずかしさ〉 河合隼雄

※設問の都合上、一部表記を改めました。

問1 線1 「（　　）的な要素」とあるが、（　　）に入る言葉としてもつとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア 偶然 イ 必然 ウ 間接 エ 直接

問2 線2 「選ぶ」とあるが、何を「選ぶ」のか、本文中から五字以内で書きぬきなさい。

問3 線3 「このような友人による支え」とあるが、本文中の言葉を用いてわかりやすく説明しなさい。ただし、四十字以内でまとめること。

問4 1  
↓  
4  
に入る語の組み合わせとしてもつとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

- |         |       |       |       |
|---------|-------|-------|-------|
| 1       | 2     | 3     | 4     |
| ア たとえば  | したがつて | しかし   | ところで  |
| イ したがつて | しかし   | ところで  | たとえば  |
| ウ しかし   | ところで  | たとえば  | したがつて |
| エ ところで  | たとえば  | したがつて | しかし   |
| たとえば    | したがつて | しかし   |       |

問5 線4 「成長を阻む」<sup>はさむ</sup>とあるが、これはどういうことか説明した次の文章の（ ）に入る語句を、本文中から指定の字数でそれぞれ書きなさい。なお、「阻む」とは、「進もうとするのをさまたげる」という意味である。

友人関係が、（ア 五字）とよく似たものとして、単に緊密さを感じる状態であるならば、お互いの成長を妨害する関係となることもある。自分にとつては受け入れ難い部分、自分の（イ 二字）しなくてはならない部分、つまり、「影の部分」を（ウ 二字）することができず、他人に（エ 二字）の目を向けることで意気投合している友人関係は、一步成長した新しい連帯感を生み出すことはできないということ。

問6 線5（ ）に入る語句としてもっとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア 別に自分が仕事をやめようとやめまいと
- イ 別に自分が孤独を感じようと感じまいと
- ウ 別に相手が大学に行つていようとやめまいと
- エ 別に相手と大学生の悪口をいつていようと

問7 線6 「そのような関係」とあるが、これが指す内容とちがうものを、本文中の 線ア～エから一つ選びなさい。

問8 本文で述べられている大人になるために必要な条件の内容として正しくないものを、Ⓐ～Ⓔから一つ答えなさい。

- Ⓐ 他人を笑いものにし、攻撃することで結びついている人間関係からぬけだし、新たな関係をつくること。
- Ⓑ 自分にとっては受け入れがたいことも許容していくが、一方、生きていくことを拒否したくなること。
- Ⓒ 友人関係を通して、自分の個性の在り方を自覚し、自分と異なる存在を理解、評価することを学ぶこと。
- Ⓓ 友人関係の中で、他人に対する批判の目を自分たちに向け、自分たちの「影の部分」をみつめること。

三 次の文章の中の言葉に関する問い合わせに答えなさい。

大人になるといえば、「自我の確立」ということを①ジヨウケンのひとつとして、誰しも考えるであろうが、実のところ、「自我」ということが西洋人と日本人では異なっていると筆者は考えている。まず、ひとつ目の例をあげてみよう。筆者がスイスに②リュガク中のことだが、ある小学校一年生の子が成績不良というので、幼稚園へ落第させられたことを知り、驚いていると、幼稚園の先生が、日本には落第がないのかと聞かれる。小学校では落第がないと、その先生が驚いた顔をして、「日本ではそんな不親切な教育をしているのか」といわれる。このときに筆者にとって③インショウ的だつたのは、落第させることを「親切」と考えているという事実であった。つまり、成績の悪い子はその子に適切な級に落第させるのが親切だというのが西洋流であり、□成績が悪くとも進級させてやるのが親切だというのが日本流ではなかろうか。このような考え方の④サが生じてくるのは、その考えの主体となる自我の1在り方が異なるつているからであると考えられる。

西洋人の自我は他と切り離して、あくまで個として確立しており、それが自分の存在を他に対する主張してゆくところに特徴がある。それに対して、日本人の自我は、あくまで他とつながっており、自分を主張するよりも他に対する配慮を基盤として存在しているところがある。先の例でいえば、ある子どもが一年生に入学してくると、その子の成績が1どうであれ、その子の気持を配慮して、みんな一緒になつて進級してゆくようなことをよしとしなくてはならない。それに対して、西洋では成績が悪ければ落第し、落第が嫌なら進級できるよう自己主張せよ、つまり努力せよ、ということを教えるのである。日本人であれば、2何もいわなくとも相手の気持を「察する」ことのできる人間になることが、大人になることといえるし、西洋人であれば、自分のことは自分で自己主張できることが、大人になることといえるだろう。このような混乱は、西洋と日本の交流が⑤サカニになるに⑥シタガッテよく生じている。たとえば、欧米に長く滞在した日本人が帰国して、何のためらいもなく自己主張すると、「いばつてはいる」とか「勝手者だ」などと非難されるというような事実として、そのことが⑦シメされている。また逆に、長い間日本にいたアメリカ人が、帰米すると、自

己主張をしないので、そんなことではアメリカでは生きていけないと友人に⑧チュウコクされたと聞いたこともある。

日本人はその自我をつくりあげてゆくときに、西洋人とは異なり、はつきりと自分を他に対して屹立しうる形でつくりあげるのではなく、むしろ、自分を他の存在のなかに隠し、他を受け容れつつ、なおかつ、自分の存在をなくしてしまわない、という3複雑な過程を経て来なくてはならない。しかし、その間において、他に対する配慮があまりにも優先すると、常に「4他人はどう考えているのか」、「他人に笑われないようにしなければ」ということが強くなりすぎて、西洋人からいわせれば「自我が無い」というようなことになってしまいかねないのである。

ここで、筆者は西洋流の自我と日本流の自我を比較して、どちらがすぐれているとか、どのようになるべきであると主張するつもりはない。戦争に負けた頃は、西洋流の考えが強く、日本人の自我を「他人志向的」だなどと批判する傾向がよくみられ、最近になつて日本の経済的<sup>5</sup>成功が高く評価されるようになると、ある種の日本人論のように、日本人の在り方の彈力性<sup>だんりょくせい</sup>がよいこととされたりしたが、実のところ、両者の在り方は<sup>6</sup>一長一( )であり、<sup>7</sup>軽々しく判断を下すべきことではない、と筆者は考えている。

※設問の都合上、一部表記を改めました。

「大人になることのむずかしさ」 河合隼雄

問1 線①～⑧のカタカナを漢字に直しなさい。ただし、⑤⑥は送りがなも書きなさい。

問2 □に入る言葉としてもつとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア たとえ イ まさか ウ もつと エ まつたく

問3 **1**在 **2**非の二画目をぬりつぶしなさい。

問4 線**1**「どうであれ」の意味としてもっとも適當なものを、ア～エから選びなさい。

ア どうかはわからないが イ どうしようもないが ウ どのようであっても エ どれほどのものか

問5 線**2**「何もいわなくとも相手の気持を『察する』ことのできる」と、ほぼ同じ意味となる四字熟語を次の漢字を組み合わせて答えなさい。ただし、同じ漢字を二度使つても良い。

一 心 言 以 転 語 伝 断

問6 線**3**「複雑」、 線**5**「成功」と反対の意味となる二字熟語をそれぞれ答えなさい。

問7 線**4**「他の人はどう考へているのか」、『他の人に笑われないようにしなければ』といふことが強くなり」とあるが、

これは、「他人のことを気にする」という内容である。ほほ逆の意味で、「他人の意見や批評を全く気にかけないで聞き流すこと」という意味となるように、次の四字熟語とことわざの（　）に共通して入る漢字一字を答えなさい。

( )耳東風

( )の耳に念佛

問8 — 線6 「一長一（　）」について

①（　）に入る漢字一字を答えなさい。

②四字熟語には「一長一（　）」のように「一」で始まるものが多い。次の1～3の四字熟語の意味として適當なもの、ア～オからそれぞれ選びなさい。

- 1 一部始終    2 一朝一夕    3 一刀両断

ア きわめてわずかな時間のこと。

イ とても時間が長く感じられ、待ち遠しいこと。

ウ きっぱりと判断を下し処理すること。

エ あることをなじとげようと決心すること。

オ 最初から最後まですべて。

問9 — 線7 「軽々しく判断を下す」について

①「軽々しく判断を下す」とほぼ同じ意味となる言葉を、ア～エから選びなさい。

- ア 軽快    イ 軽率    ウ 軽蔑    エ 軽量

② 「軽々しく判断を下す」とほぼ逆の意味となる言葉を、ア～エから選びなさい。

ア 石橋をたたいてわたる

イ 石の上にも三年

ウ 一石二鳥

エ 焼け石に水



令和六年度 白百合学園中学校 オープン模試

国語

解答用紙

受験番号	
名前	

一

問1	①	タヂ	②	トトロ	③	ミスカラ	④	ホガ
問2	①	マネ	②	キボウ	③	トトロ	④	トトロ
問3	①	アシ	②	アシ	③	アシ	④	アシ
問4	①	アシ	②	アシ	③	アシ	④	アシ
問5	①	アシ	②	アシ	③	アシ	④	アシ
問6	①	アシ	②	アシ	③	アシ	④	アシ
問7	①	アシ	②	アシ	③	アシ	④	アシ

--

--

--

二

問1		問2		問3		問4		問5		問6		問7		問8		問9		問10	
問11		問12		問13		問14		問15		問16		問17		問18		問19		問20	
問21		問22		問23		問24		問25		問26		問27		問28		問29		問30	
問31		問32		問33		問34		問35		問36		問37		問38		問39		問40	

--

三

問1	①	ジヨウケン	②	ヒヨウガタ	③	ヒンシヨウ	④	チヨウコク
問2	⑤		⑥		⑦	メル	⑧	
問3	2	在	問4		メル	メル		
問5	1		問6		メル	メル		
問7	2		問8		メル	メル		
問9	1		問10		メル	メル		
問11	2		問12		メル	メル		
問13	3		問14		メル	メル		
問15	4		問16		メル	メル		
問17	5		問18		メル	メル		
問19	6		問20		メル	メル		
問21	7		問22		メル	メル		
問23	8		問24		メル	メル		
問25	9		問26		メル	メル		
問27	10		問28		メル	メル		
問29	11		問30		メル	メル		
問31	12		問32		メル	メル		
問33	13		問34		メル	メル		
問35	14		問36		メル	メル		
問37	15		問38		メル	メル		
問39	16		問40		メル	メル		

--

令和六年度 国語白百合学園中学校 オープン模試

国語

解答用紙

受験番号	
名前	

一

問1	刻 <small>キザ</small> む	問2	演説 <small>エンゼツ</small> キボウ	問3	湖 <small>ミズウ</small> ノガ
問4	招 <small>マネ</small> く	問5	希望 <small>キボウ</small> チカラ	問6	再び <small>ミズウ</small> ノガ
問7	試み <small>シム</small> ちる	問8	耕す <small>キル</small> さきてさ	問9	當む <small>カム</small> はぐく
問10	て <small>テ</small> る	問11	うもう <small>ウモウ</small> うもう	問12	目 <small>メ</small> 二二二
問13	アイ <small>アイ</small> ウ	問14	工 <small>コ</small> ア	問15	ア <small>ア</small> ウ
問16	ア <small>ア</small> ウ	問17	水 <small>ミズ</small> ス	問18	雪 <small>ヨシ</small> ク
問19	ア <small>ア</small> ウ	問20	イ <small>イ</small> イ	問21	雨 <small>ウヂ</small> ウヂ

30

二

問1	ア <small>ア</small> ウ	問2	友人關係 <small>ヨウジンケイセイ</small> ア
問3	自分 <small>ジボン</small> ア	問4	友人 <small>ヨウジン</small> ア
問5	母子 <small>ブシ</small> ア	問6	親 <small>シン</small> ア
問7	母子 <small>ブシ</small> ア	問8	親 <small>シン</small> ア
問9	克服 <small>コクフク</small> ア	問10	直視 <small>チリス</small> ア
問11	克服 <small>コクフク</small> ア	問12	直視 <small>チリス</small> ア
問13	克服 <small>コクフク</small> ア	問14	批評 <small>ヒョウヒョウ</small> ア
問15	直視 <small>チリス</small> ア	問16	批評 <small>ヒョウヒョウ</small> ア

37

三

問1	条件 <small>ジョウケン</small> ア	問2	留学 <small>リュウガク</small> ア	問3	印象 <small>インショウ</small> ア
問4	盛んに <small>ソラニ</small> ア	問5	従つて <small>ツルフテ</small> ア	問6	示され <small>シメサレ</small> ア
問7	非 <small>ヒ</small> ア	問8	失敗 <small>シハ</small> ア	問9	以心伝心 <small>イシンデンシン</small> ア
問10	单纯 <small>(簡単)</small> <small>チュウモン</small> ア	問11	馬 <small>マ</small> ア	問12	忠告 <small>チュウゴク</small> ア
問13	单纯 <small>(簡単)</small> <small>チュウモン</small> ア	問14	馬 <small>マ</small> ア	問15	忠告 <small>チュウゴク</small> ア
問16	短 <small>ク</small> ア	問17	短 <small>ク</small> ア	問18	忠告 <small>チュウゴク</small> ア

答①

33

令和6年度

函館白百合学園中学校

オープン模試

国語 解答・解説

令和6年9月29日(日)実施

問1 漢字の書き取りの問題  
いざれも基本的な漢字であるが、訓読みの漢字の書き取りは正答率が低い傾向にあるので、送りがなも意識して学習すべき。同音異義語、同訓異字にも注意したい。

次のような**同音異義語**も覚えたい。

以外	意外	衛生	衛星	解答	回答	家庭	過程	仮定	感染	観戦	正確	性格
機会	機械	公園	講演	公演	消化	消火	生産	精算	清算	対象	対照	対称

問2 漢字の送りがなもふくめた書き取りの問題

訓読みの漢字は送りがなに気をつけて覚えたい。

送りがなは、用い方によつて語形が変化する部分を送るのが原則。

例えば、「話す」は「話さ(+ない)」「話し(+ます)」のようになるので、変化する語尾「さ・し・す」が送りがなとなる。

ただし、「話します」は動作を表現する言葉（＝動詞）で用い方によつて語形が変化するので送りがな「し」が必要であるが、「先生の話」の場合は名詞（ものの名前を表す言葉）があるので送りがなは必要ない。

①「ココロミ」は、もともと「試みる」という動作を表現する言葉（＝動詞）が、「試み」という名詞（ものの名前を表す言葉）となつた語。もとの動詞「こころみる」は「こころみ(+ない)」「こころみ(+ます)」となるので、語尾の変化はないが、語尾が「うる。」となる語は、「い」の音から送りがなとなる。前述した「話」とはちがつて、「試み」と送りがなを送る。これに似ている語として「動き」「調べ」「答え」などがある。

② 「タガヤス」は「たがやさ（+ない）」「たがやし（+ます）」、③ 「イトナム」は「いとなま（+ない）」「いとなみ（+ます）」となるので、こちらも原則通り、② 「耕す」、③ 「営む」。

④ 「フタタビ」は副詞という種類の語で、最後の一音を送りがなにするという決まりがあるので「再び」となる。同様の語（副詞）である「必ず」「少し」「全く」「最も」も覚えておきたい。

### 問3 漢字の読みの問題

訓読みの読みも正答率が低い傾向にある。今回出題はしていないが、他に、複数の読みをする漢字にも注意したい。

### 問4 漢字の部首の問題

漢字の意味を表す漢字の一部で、他の漢字にも共通するものを「部首」という。

① 「次」は部首を「へん（漢字の左側）」の「にすい」とまちがえやすい。「凍（こおる）」の部首は「にすい」。「にすい」は「氷」の意味を持つためである。「次」は「氷」の意味は持っていないので「にすい」ではなく、「つくり」の「欠（あくび）」。

② 「複」は「へん」に注目。これは「衣」から生まれた「ころもへん」。衣服に関する漢字の部首。例えば、「被服」「襟（えり）」「裾（すそ）」など。「ころもへん」とまちがえやすいのが「しめすへん」。「示」から生まれた部首で、「人間を超えた存在の力、存在を示す」ことから、「神」「社」などの部首となっている。

代表的な部首は覚えておくと良い。

にんべん	ぎょうにんべん	りつしんべん	てへん	さんずい	ごんべん
こざとへん	にくづき	きへん	のぎへん	しめすへん	ころもへん
りつとう	さんづくり	ほこづくり	るまた	おおざと	ふるとり
なべぶた	うかんむり	くさかんむり	おいがしら	はつがしら	あなかんむり
れんが（れつか）					たけかんむり
えんによう	しんによう	そによう			
がんだれ	まだれ	やまいだれ			
くにがまえ	ぎょうがまえ	もんがまえ			

## 問5 漢字の画数の問題

イ 「健」の漢字中の「建」がまちがえやすい。一字の漢字として「建」を見た場合、部首の「えんによう」が三画である点は注意が必要。

エ 「鹿」の漢字中の「比」がまちがえやすい。書体である明朝体の「比」では「へん」が三画に見えるが、教科書体の「比」で確認すると「へん」は二画。

## 問6 問7 二字熟語の問題

問6について。

- ① 「絵画（かいが）」は「絵」+「画」で意味がほぼ同じ漢字の組み合わせ。
- ② 「登山（とざん）」は意味を考えると「山を登る」と語順が逆になる。
- ③ 「曲線（きょくせん）」は意味を考えると「曲がった線」となり、上の字が下の字を説明している。

二字熟語の学習をするときには、こういった構成にも注意をし、言葉の意味を考えたい。

## 問8 ことわざの問題

ことわざとは、人生に役立つ教訓やいましめ、生活の知恵を示した言葉。ことわざの意味を確認しながら学習しよう。反対の意味、類似の意味を持つことわざも多い。

次にあげたのは**類似の意味を持つことわざ**。意味を調べよう。

弘法にも筆の誤り 猫に小判  
河童の川流れ 豚に真珠  
猿も木から落ちる 馬の耳に念佛  
馬耳東風 のれんに腕押し  
豆腐にかすがい ぬかに釘

## 問9 故事成語の問題

中国の古い文章から生まれた言葉を「故事成語」という。他にも「蛇足（だそく）」「矛盾（むじゅん）」「推敲（すいこう）」「五十歩百歩（ごじっぽひやっぽ）」などの故事成語の意味を確認してみよう。

□

心理療法家である河合隼雄の評論「大人になることのむずかしさ」からの出題である。

□の本文の内容をまとめると、次のようになる。

### 【要約】

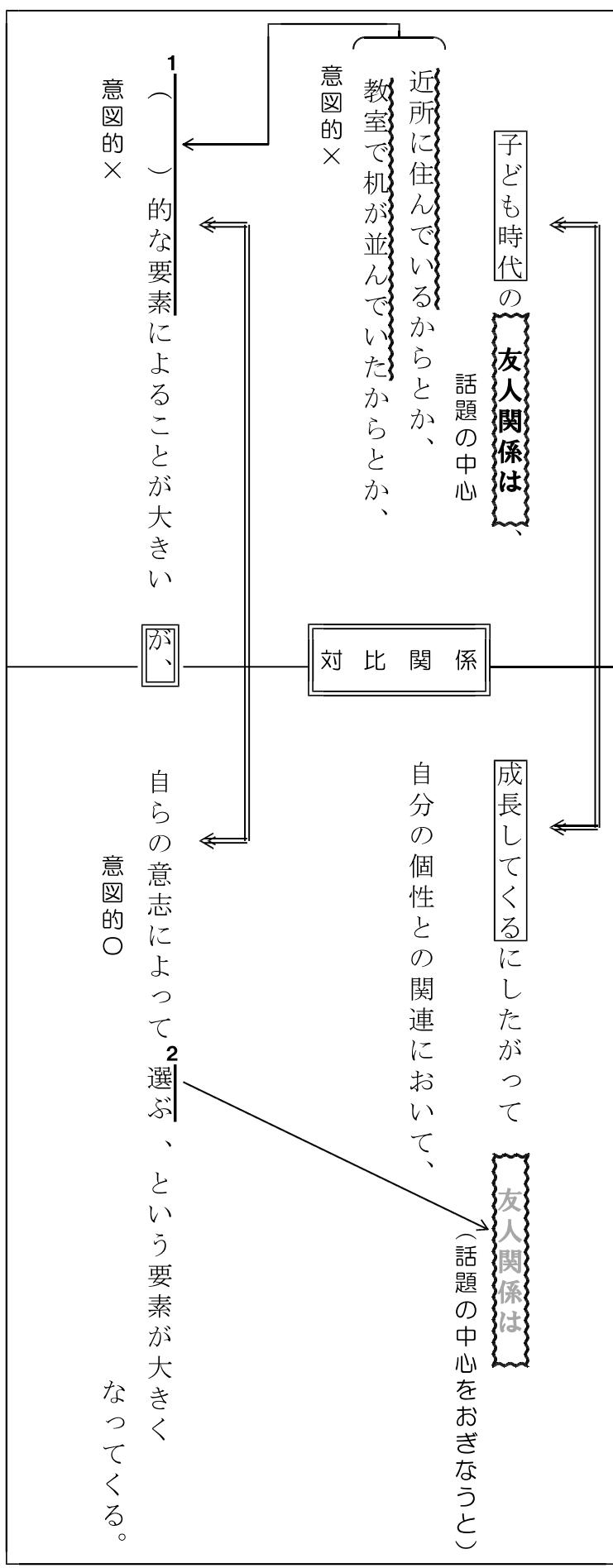
青年期においてよき友人を得ることは大人になるために大切なことである。成長してくるに従って自らの意思によって友人を選ぶようになるが、両親からある程度独立している時期であるからこそ、青年にとって、自分の存在を認め、支えてくれる友人の存在は大切だ。しかし、単に一緒にいるだけの「連帯感」、「緊密さ」はお互いの成長をさまたげる関係にもなり得る。自分たちにとつては受け入れ難いような「影の部分」を見ないようにして、他人の悪口ををいつているだけでつながっている友人関係は「大人の友人関係」とはいえない。お互いの「影の部分」を直視し、それまでの間人間関係を変えること、新しい連帯感をつくることが「大人になること」なのだ。

### 問1 問2 文脈理解・言葉の意味の問題

短い傍線が引かれている問題は、傍線部を含む一文を見よう。そこに考へるヒントがあることが多い。

子ども時代の友人関係は、近所に住んでいたからとか、教室で机が並んでいたからとか、1( )的な要素によることが大きいが、成長してくるにしたがつて、自分の個性との関連において、自らの意志によつて2選ぶという要素が大きくなつてくる。

まず、この一文を整理しよう。



「子ども時代の友人関係は、大きい□、成長していくにしたがつて、大きくなつてくる。」の文構構造は、「子ども」「成長して」という対となる言葉、また、□に注目すると、一文の中の対比関係が見える（右の文構造図を見よう）。ここから問1は「自らの意志によつて選ぶ」という要素（＝意図的であること）とは逆の意味の言葉が入るため、「意図的ではない」という意味合いの言葉を選べばよいので、答えは「偶然」。また、「（偶然）的な要素」は、「近所に住んでいる」「教室で机が並んでいた」という「たまたまそうなつたこと」「意図的でないこと」と矛盾がない。

問2について。この一文は、「子ども時代の友人関係は、偶然的な要素によるのに対し、成長してからの（友人関係は）」自らの意志で選ぶ要素が大きいのように、この一文の話題の中心（主語）の（友人関係は）を補つて、まとめることができる。ここから「選ぶ」のは「友人関係」【解答】と考えることができる。

### 問3 文脈理解・指示語・言い換えの問題

「このような友人による支え」をわかりやすく説明する（言い換える）問題。

ともかく、自分という存在を認めてくれている、許容してくれている、友人がいるということは、人間を力づけてくれるものである。既に述べたように、大人となつてゆくためには、両親からのある程度の分離が

必要なので、①このような友人による支えは随分と有難いことと感じられる。

傍線部3をふくむ一文の中にヒントをさがすと、「このような友人による支えはもう有難い」とある。解答した内容が「有難い」ものであるか考えながらまとめよう。

傍線部3を①「このような友人」②「友人による支え」と分割して考えてみる。

- ①「このような友人」は直前に「自分という存在を認めてくれている、友人」という部分がある。  
②「友人による支え」は「友人がう力づけてくれる」とあり、「支え」は「力づけてくれること」といいかえられる。以上をまとめると、

「自分という存在を認めてくれている、許容してくれている友人が力づけてくれること。」（三十九字）  
となる。これは「有難い」と感じられることもある。

次のように（ ）部分は省略もできる。記述の解答は、長めに解答を作つて重複している表現などを削除して字数を減らしたり、解答が指定の字数に不足している場合は、説明等を加えて字数を増やしたりというように、字数の調整の練習をしてみよう。

「自分という存在を認め（てくれている）、許容してくれている友人が力づけてくれること。」（三十三字）

**問4 つなぐ言葉（接続詞）の空欄補充の問題 文脈理解の問題**

こういった問題は本文通読の際に自分なりに言葉を入れておいた上で、後で、選択肢から選ぶのが良い。

□1 の前は「青年期で良い友人、自分の存在を認めてくれる友人による支えが大人になるためには必要である。」と述べ、□1 の後は「連帯感だけに終わる友人関係は青年の成長を阻むこともある。」と述べられている。話が変わっているので「ところで」を入れるのが良い。

□2 の後は大学生A君の友人関係について具体的に述べられている。友人関係が青年の成長を阻む例であるため、答えは「たとえば」。

□3 について考える。

A君とその友人にとつて、大学で勉強するということが、共通の影の部分になっていた。【理由】

だから

二人とも大学生の悪口をいっているだけで意気投合することができた。【結果】

□3 には「だから」を入れることもできる。ほぼ同じ意味になるのは「したがって」。

□4 について考える。

人間は誰しも影の部分をもつていて、影の共有的人間関係をもたないと生きていけぬことも事実である。

それは甘んじていてはならない。

この前後をまとめ、一文にすると、「友人関係において『影の共有』をしないと生きていけないが、いつまでも『影の共有』を続けても成長がない。」となる。つなぎの言葉、「が」の部分が□4 にあたるとすれば、答えは逆接の「しかし」。

問5 本文の内容・筆者の主張をとらえる問題

本文と問い合わせの説明文を照らし合わせてみよう。

【本文】

1 、このような友人との連帯感は、ただそれだけに終るときは、本質的には母子一体感とよく似たものとして、むしろ、青年の成長を阻むものとして作用するときがある。

【中略】

友人関係はいろいろな要素から成り立っている。関係の緊密さ・のみ・・・は非常によい関係・・・のように見えるが、実のところお互いの成長を妨害している関係として、「影の共有」関係・・・がある。人間は誰しも「影の部分」・・・をもつている。自分にとつては受け入れ難い部分・・・といつていい。二人とも・・・大学生の悪口・・・だけで意気投合することができた。われわれは自分の克服しなくてはならない影の部分に対して、・・・直面する苦しさをまぎらわすために、影の部分を共有する人間関係をもち、自分の影の部分を不問にして、他人を笑いものにしたり、他人を攻撃したりして「いい友情」を誇っている・・・。そこで、その関係を「大人の友人関係」と高めるためには、外にばかり向けていた批判の目を内に向かへと・・・お互いの影の部分を直視することが必要になってくる。・・・関係が変えられてゆくときに・・・一時的に友人関係を切つてしまおうと思うほどの孤独が感じられ、次にそれをバネとして新しい連帯感が生まれてくるところが特徴的である。

【説明文】

友人関係が、  
(ア 母子一体感)とよく似たものとして、  
簡単に緊密さを感じる状態であるならば、お互いの成長を妨害する関係となることもある。

自分にとつては受け入れ難い部分、  
自分の(イ 克服)しなくてはならない部分、  
つまり、『影の部分』を

(ウ 直視)することができずに、他人に(エ 批判)の目を向けることで意気投合している友人関係は、  
一步成長した新しい連帯感を生み出すことはできないということ。

問6 本文の内容・筆者の主張をとらえる問題

傍線部――5をふくむ一文は次の通り。

このような話し合いを通じて、A君は大学に行くようになるし、友人は今までどおり仕事を続けながらも、自分は自分の道を歩き、他人は他人の道を歩くものとして、5（）、それにこだわることなく友人関係を保つことができるようになるのである。

文脈から、「他人は他人の道を歩く」5（）と考えることができるが、ここでいう「他人」はA君のこと。つまり、右の波線部は「A君がA君の道を歩くことにこだわることなく」と考えることができる。

「A君の道」とは何か。それは、A君が本当ならば歩む道であり、A君が避けってきたことでもある。また、友人である自分がさえぎつていた道である。つまり、二人とも避け続けた、「直視」せずにいた「影の部分」と言える。

二人に共通する「影の部分」は、「大学で勉強する（大学に行く）」こと。A君は大学に行つても孤独を感じるため、大学に行くことを避けっていた。友人は、大学生のA君を慰める自分は大学生よりえらいと思うことで、大学に行くことを選ばなかつた自分の選択が正しいと無意識に自分に言い聞かせていた。ここから考えると二人に共通する「直視したくない」ことは「大学へ行くこと」と言える。前述したこの部分の言いかえである「A君がA君の道を歩くことにこだわらない」の傍線部分を言いかえると「A君（相手）が大学に行くことにこだわらない」5ウと言える。

問7 本文の内容・筆者の主張をとらえる問題

「6そのような関係」の後の文をまとめると、「そのような関係が変えられてゆくと新しい連帯感が生まれてくる。」となる。つまり「そのような関係」は新しい連帯感（人間関係）、成長した人間関係を得るために「変えられ」るべきもの。つまり、筆者が否定している、「青年の成長を妨害する『影の共有』関係」。ア、イ、ウはこれに当たる。  
エ「大人の友人関係」は筆者が求めているもの。つまり、一つだけちがうので答えはエ。

## 問8 正誤問題

本文冒頭にある**大人になるために必要な条件**は全文にわたって述べられている。

本文で述べられているものは○、そうでないものは×を付けた。

ア ○ 「影の部分」を共有する人間関係からぬけだし、新たな関係をつくること。  
「大人の反人関係」へと高める

イ ○ 自分の「影の部分」を直視すること。自己にとつては受け入れがたいことも許容していくが、一方、生きていいくことを拒否したくなること。  
本文になし

ウ ○ 大人になるために必要な条件の直前にある。友人関係を通して自分の個性の在り方を自覚し、自分と異なる存在を理解、評価すること。

エ ○ 「外にばかり向けていた批判の目を内に向け」の言いかえ。「影の部分」を直視することが必要」と述べている  
友人関係の中で、他人に対する批判の目を自分たちに向ける  
「自分たちの『影の部分』をみつめること。

イの後半は「影の部分」の一つとして「生きていくことを拒否している部分」とあり、類似の表現ではあるが、「拒否したくなる」とは本文では述べられていない。

### 三

文章の中の言葉に関する問い合わせである。今回は内容を読解する問題はほぼ出題していない。

□の文章と同じ出典。「大人になる」とを中心に、「自我の確立」が西洋人と日本人でどのようにちがうのか述べた文章。

#### 問1 漢字の書き取りの問題

訓読みの漢字の書き取りは正答率が低い傾向があるので、送りがなも意識して学習すべき。

#### 問2 係り受けの問題

「決して／ない」「もし／ならば」「ぜん／ぜん／ない」「たとえ／ても（とも）」「まさか／まい（ないだろう）」などという形で「係り受け」が決まっている言葉がある。問題は「□／とも」とあるので「たとえ」が係り受けとして適当。

#### 問3 漢字の筆順の問題

正しい筆順で書くと「筆の流れ」で漢字の形を覚えやすく、書きやすいだけでなく、文字のバランスもとれる。

漢字の筆順の原則は次の通りである。（ただし、例外もある。）

- ① 上から下へ 言 ↓ 、 ニ = 二 三 言
  - ② 左から右へ 川 ↓ ノ 川
  - ③ 横画から縦画へ 土 ↓ - 十 土
  - ④ 中から左・右へ 小 ↓ | 小 小
  - ⑤ 貫く縦・横画は最後に 子 ↓ フ マ 子 ナ 文
  - ⑥ 左のはらいから右のはらいへ 文 ↓ 、 ハ ナ 文
  - ⑦ にようをふくむ字 にようが後／近・建 にようが先／起・勉
- ▼例外／座  
▼例外／非・ト  
▼例外／世

⑧ かまえをふくむ字

外側が先の国・同

内側が先の区・臣

⑨ 横画と左はらい

横画が先の左・友・存

左はらいが先の右・有・布

⑩ 「、」は最後

犬→一　ナ　大　犬

▼例外の博

1 「在」は「左」と同じ決まりに従って書く漢字。横画と左はらいの間が、広い漢字は横画が先、せまい漢字は払いを先に書く。

左はらいが先

右 布

横画が先



せまい

広い



左 在

筆順をまちがえやすい漢字

書 何 飛 成 万 臣 左 右 有 布

問4 語句の意味の問題

漢字を用いている語は漢字の意味から類推できることも多いが、漢字を用いていない語の場合、文中に入れて意味が通るかどうかを確認しよう。漢字で表記しないことも多い「和語」の意味に注意をはらいたい。

問5 問7 問8 四字熟語の問題

四字熟語の意味も覚えておきたい。

**漢数字を使った四字熟語**（特に「一」を使ったもの）は多いので意識して学習したい。次の四字熟語の意味も調べてみよう。

七転八倒	（しちてんぱとう）	十人十色	（じゅうにんいろ）	四苦八苦	（しきはつく）
千差万別	（せんさばんべつ）	一心同体	（いつしんどうたい）	一世一代	（いつせいちだい）
一石二鳥	（いつせきにちょう）	一期一会	（いちごいちらい）	一部始終	（いちぶしじゆう）
一日千秋	（いちじつせんしゅう）	一長一短	（いちちょういつたん）	一朝一夕	（いつちょういつせき）

### 問6 対義語（反対の意味の言葉）の問題

答えは、（複雑）単純　（成功）失敗　いずれも基本的な対義語。文章読解の上でも、対義語に注目して、文章の内容を整理しながら読めるので、対義語の学習は大切である。

間接	直接	奇数	偶数	拡大	縮小	異常	正常	決定	未定	欠席	出席	点火	消火
長所	短所	直線	曲線	安心	心配	全体	一部	向上	低下	需要	供給	原因	結果
異	同	寒	暖	明	暗	質	量	得	失	苦	楽	軽	重

### 問7 問9 ことわざの問題

□の問題にもあるが、「河童の川流れ」「猿も木から落ちる」のような似た意味、「一石二鳥」「二兎追うものは一兎をも得ず」のようないいえいの意味のことわざ・慣用句など、まとめて覚えるのも良い。次に挙げたもののようにグループに分けて覚えててもよい。

#### 生き物の名を用いた慣用句 ことわざ

負け犬の遠ぼえ	蚊の鳴くよう	きつねにつままれる	猿も木から落ちる	ぐもの子を散らす	猫に小判
すずめの涙	鶴の一声	虎の子	猫の手も借りたい	猫の額	
掃き溜めに鶴	袋のねずみ	虫がいい	虫が知らせる	虫の居所が悪い	虫の息
いばらの道	瓜二つ	根も葉もない	話に花が咲く	雨後の竹の子	
花を持たせる	実を結ぶ	芽が出る	月とすっぽん	蛇ににらまれた蛙	
馬が合う	馬の耳に念佛	馬の骨	立つ鳥跡を濁さず	一寸の虫にも五分の魂	